

<b>テブフェンピラド・BPMCくん煙剤 シーマージェット</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日本曹達  <b>原体メーカー：</b> 日本曹達，日農
<b>成分：</b> テブフェンピラド〔PRTR・1種〕……………10.0% BPMC〔カーバメート系 PRTR・1種〕……………4.0%	<b>性状：</b> 類白色発煙性中空円板状 外径70mm，内径20mm，高さ22mm，1個75g  <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- いちご・きゅうり・なすの重要害虫であるハダニ類やアブラムシ類に優れた効果があり，うどんこ病との同時防除ができる。
- いちご・きゅうりのうどんこ病の発生初期に，優れた効果を発揮する。(治療効果)
- くん煙剤なので，ハウス内の湿度を高めず，作物の汚れも少なく，省力防除ができる。
- 収穫前日まで使用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- ハウスの密閉……くん煙を始める前に防除する室の戸や窓を閉め密閉する。
  - 薬剤の配置……室内の可燃物を取り除き，室の容積によって使用量を決め，必要に応じてくん煙箇所を数カ所に分けて配置し，煙が満遍なく行きわたるようにする。
  - くん煙する場合は，添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙する。吊具および電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さで吊り下げるか又は不燃性の台などの上にのせて使用する。なお，植物体，可燃物から離れた中央の安全な場所に設置する。特にビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用する。
  - 点火は以下のとおりに行う。
    - 点火紙を用いる場合，同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上にのせて点火すると炎が出るのできる。
- 発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消す。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのま

ま放置する。

- 電気式点火・くん煙装置を使用する場合装置は水などに濡れないように設置し，電源がオフになっていることを確認の上，薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電する。点火後発煙したら電源のオフを確認し，くん煙室の外に出てそのまま放置する。
- 発煙直後に万一炎が出た場合においても，再びくん煙室に入らずに，そのまま放置する。
- 点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らない。

- 退出……点火紙への着火を確認したら，煙を吸わないように直ちに退出する。
- くん煙……くん煙は，夕方から始め，翌朝までとする（できるだけ12時間以上密閉）。
- ハウスの開放……翌朝，開放し，十分換気した後に入室する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 高温時のくん煙または日中のくん煙は薬害を生じるおそれがあるのできる。
- 室外で強い風が吹いている時は，煙が片寄ってしまい，均一な効果がでにくいので，使用しない。
- ハダニ防除剤として使用する場合，連続使用は，ハダニ類の抵抗性を発達させるおそれがあるので，年1回の使用とし，他の殺ダニ剤と輪番で使用する。
- ハダニ類・アブラムシ類主体の防除に使用し，うどんこ病防除剤として使用する場合は，他のうどんこ病防除剤と体系で使用する。
- 適用作物（いちご，きゅうり，なす）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- くん煙中はハウス内に入らない。また，くん煙終了後は，ハウスを開放し，十分換気した後に入室する。

- 魚類, 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、  
使用時は注意。空容器等は適切に処理する。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処  
理する。



# 【適用と使用法】 .....

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	テフエンピラドを含 む農薬の総使用回数	BPMCを含む農 薬の総使用回数	
いちご	温室・ビ ニールハ ウス等密 閉できる 場所	ハダニ類	くん煙室 容積400m <sup>3</sup> (床面積200m <sup>2</sup> ×高さ2m) 当り75g	前日まで	2回以内	くん煙	2回以内	2回以内	
きゅうり		アブラムシ類		発生初期	1回		1回	3回以内	
なす		うどんこ病							
カーネーション		ハダニ類							